

# 大学生防犯ボランティア

Aomori Public Peace Maker



青森県警察

## ～ 目 次 ～



大学生防犯ボランティアとは	2
なぜ、防犯ボランティア活動が必要なのか	2
防犯ボランティア活動をする1つのメリットとして	2
安全で安心な地域づくりと防犯ボランティア活動	3
どんな活動をするのか	3
活動回数等について	4
連絡方法について	4
服装	4
ボランティア保険について	5
登録方法	5



## 【大学生防犯ボランティアとは】

大学生ボランティアとは、大学生の若い力や考え方を、防犯ボランティア活動に活用すること及び、ボランティア活動や他団体との交流を通じて、社会人として成長することを目的として、警察や他の防犯ボランティア団体と一緒に「安全で安心して暮らせる地域づくり」に参加してもらうものです。

ボランティアはアルバイトのように、給料をもらえるなどの直接的なメリットはありません。

また、部活動やサークルのように、「自分やチームが強くなった」「試合で相手に勝った」など、すぐに目に見える達成感はないと思います。

しかし、防犯ボランティアの活動を通じて、その活動を見た人が新たに活動に参加したり、普段の生活の中で防犯を意識してもらうなど、防犯の輪が広がり、自分が住む地域に貢献できたという満足感を得ることができます。

## 【なぜ、防犯ボランティア活動が必要なのか】

現在、防犯指導隊をはじめとする防犯ボランティアは、メンバーの高齢化や参加人数の減少等、若い世代の担い手不足という問題を抱えています。

また大学生の時もそうですが、みなさんがこれから就職して社会人となり、結婚し、子供ができて年齢を重ねるにつれて、町内会やPTAなど、地域とのつながりはより深くなっていきます。

自分たちの住む地域を犯罪や事故などがなく安心して住みやすい地域にするか、犯罪や事故などが多い住みにくい地域にするかは、警察や関係団体だけがやればよいというものではなく、そこに住むみなさんの協力・参加が不可欠です。

## 【防犯ボランティア活動をする1つのメリットとして…】

大学生防犯ボランティアとして活動していただける方には

「青森県警察大学生防犯ボランティア指名書」

が交付されます。

公的な資格ではありませんが、就職活動での面接の際にも、部活動やサークル活動とは違ったアピールができると思いますし、人として成長できたかどうか、勉強以外でどのような活動をしたかは、就職活動のほかにも、社会の様々な場面で問われることが多いです。

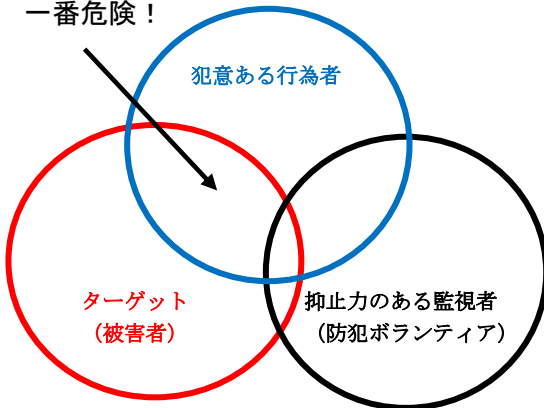
例えば、あなたが採用試験の面接官だったら大学の成績はもちろんですが、「地域のために、ボランティア活動をしていた人」をどう評価しますか？

もちろん、「警察官（少年補導職員、警察職員）になりたい」、「警察の仕事に興味がある」という方も大歓迎です。警察官等を目指している場合は、就職前に警察の仕事に触れることができますし、疑問がある場合はボランティア活動の際などに警察官などに聞くことができます。就職前の不安の解消につながるのではないのでしょうか。



## 【安全で安心な地域づくりと防犯ボランティア活動】

行為者とターゲット  
トが交わる部分が  
一番危険！



犯意ある行為者は、ターゲットになりうる人（物）を探しています。左図を見てください。犯意ある行為者とターゲット（被害者）が交わる部分が一番危険であると言われています。しかし、抑止力のある監視者（防犯ボランティア）が目光らせていれば、行為者は犯罪を実行できなくなります。つまり、犯罪を減らすためには、犯意ある行為者、ターゲット、抑止力のある監視者の3つが交わる部分を多くすることが大切です。そのためには、少しでも多くの人々が少しでも多くの活動をする必要があります。

例えば、子どもの見守り活動であれば登下校時間に併せて犬の散歩をする、庭の手入れをする、ウォーキングをするなどで、行為者がターゲット（子ども）に接触する機会を減らすことができます。特別なことをしなくても、防犯活動は成り立ちます。

安全で安心に暮らすことができる地域にするためには、防犯ボランティア活動がとても重要なのです。

---

## 【どんな活動をするのか】

大学生防犯ボランティアは、基本的に警察や他の防犯ボランティアと合同で活動します。

活動の内容は、犯罪の発生状況などに応じて

- ・ 万引き、自転車盗難防止の広報啓発活動
- ・ 特殊詐欺等の被害防止活動
- ・ 子どもの登下校時の安全確保活動（見守り活動）
- ・ 防犯イベントへの参加や合同パトロール

などの活動をしています。

活動の際は青森県警察から連絡しますが、自主的にやりたい活動がある場合は相談してください。活動地域の防犯ボランティアや交番、駐在所へ協力をお願いし、一緒に活動してもらえようにします。積極的な活動をお待ちしています。



## 【活動回数等について】

防犯ボランティア活動は、月に1回程度の予定です。

活動する日や内容については、その時の犯罪などの発生状況や一緒に活動する団体の予定などにより、様々です。

例えば、

- ・ 平日の午後2時から、駅前で、警察官と一緒に特殊詐欺被害防止の広報活動
- ・ 平日の午後4時から、駅の自転車置場で、警察官、防犯指導隊と一緒に自転車盗難防止の防犯診断

のような活動です。

犯罪が多発して緊急に防止対策が必要になり、急に活動をお願いすることもあります。通常は2週間以上前に集合日時・場所、活動内容などを連絡します。

---

## 【連絡方法について】

活動に関する連絡は、基本的にはメールで行います。

以前、防犯ボランティアメンバーにメール送信しようとしたところ、迷惑メール受信拒否などのため、「パソコンのメールアドレスからの受信を拒否する設定」または「アドレス帳に登録しているメールアドレスからしか受信できない設定」となっている、「メールアドレスを、登録後に変えた」などで、メールで連絡できないケースがありました。

警察本部の防犯ボランティア担当（生活安全企画課）の連絡先は

**メールアドレス：E101001@mail.police.pref.aomori.jp**

**電話番号：017-723-4211（代表）**

ですので、アドレスや電話番号を携帯電話などに登録しておいて下さい。

また、メールアドレスや携帯電話番号等が変わった場合は、メールで連絡して下さい。

---

## 【服装】

活動する際は、地域の皆さん（通行している人等）に「どのような団体が、何の活動をしているのか」を理解して貰う必要があります。

警察は制服で活動しますが、大学生ボランティアの皆さんにはベスト（冬期間は防寒具）、腕章、帽子を貸し出しますので、着用することになります。

また、服装は動きやすく活動に見合った、地域の皆さんが持っている「防犯ボランティア＝地域のためになる活動」というイメージに合うものでお願いします。

※スーツではなく、派手ではない普段着。ジャージやスウェットは不可です。

## 【ボランティア保険について】

ボランティア活動中や活動場所までの行程で怪我をした時のために、ボランティア保険というものがあります。

大学生ボランティアの皆さんには、この保険に全員加入してもらうことになり、年間一人あたり200円を青森県警察で負担します。

同行する警察官は、皆さんの活動にも注意を払いますが、万が一怪我をした場合は遠慮なく申し出てください。

---

## 【登録方法】

右のQRコードを読み込んでメール作成画面を起動または手動でメール作成画面を起動して「E10100I@mail.police.pref.aomori.jp」を宛先部分へ入力し、次に文章入力部分に下記の①～⑩を入力してメールを送信すると、登録完了のメールが送られてきます。



- ①氏名
- ②ふりがな
- ③性別
- ④生年月日
- ⑤学校名等 例) ○○大学 (○年) ○○学部○○学科
- ⑥郵便番号
- ⑦住所
- ⑧携帯電話番号
- ⑨メールアドレス (携帯)
- ⑩メールアドレス (パソコン等)



※①～⑨は必須、⑩は任意です。

手動なので、メールが届くまでは数日かかります。平日3日以上経っても受取完了メールがこない場合は、青森県警察からのメールが受信できない設定になっていると思われるかもしれません。設定を確認し、もう一度送信してみてください。

メールの受信設定で制限をかけている場合は、『E10100I@mail.police.pref.aomori.jp』からのメールを受信できる様にしておいてください。

また、登録後にメールアドレスを変更した場合は、連絡してください。